

スタディランチ～road to 2040～について

市長公室 人事課

《実施内容》

- 目的 市長と、これからの市を背負っていく若手職員とが、グループランチしながら、国等が発信する2040年問題を、地方自治体目線で紐解き情報共有等していく。
- 概要 概ね月に一度程度、市長室にて、市長と複数職員が、机を囲んでランチする。
資料として「自治体戦略2040(概要版)」を使用。
- 時期 平成30年9月から31年3月まで。毎月1回(12月を除く)。
- 時間 12:10 - 12:50
- 場所 市長室
- 参加者 事務職グループ10名 技術職グループ9名 (事務職・技術職の2グループで実施)

《トークテーマと意見交換内容》

子育て・教育	保育所ニーズの多様化について／人口減少は本当に悪いことなのか ／少子化→育児力低下への懸念・対応
医療・介護	何歳まで働か問題／高齢者の仕事(企業・地域)のマッチング／介護不要の人生設計／人材の共有化
インフラ・公共交通	コンセッション方式への移行／インフラの荒廃と生活弱者の暮らし／コンパクトシティとどこでも居住／移動手段というサービスの提供／公平性と利便性
空間管理	防災面で空地を利用／自治会の在り方／空き家・空地にしない工夫・サポート・空き家保険／避難所運営の在り方・民間施設の活用

《参加者意見(抜粋)》

- ・ 2040年問題を知らないでは、意見すら出すことはできない。職員間で問題意識を共有することが大切だと感じた。
- ・ 2040年問題の対応について、人員がいる今のうちに、進められることは積極的に進めるべきだ。
- ・ 違う職種の職員との意見交換で視野が広がった。
- ・ 変化する社会状況への対応について、市全体のみならず近隣団体で対応するなど、大局的な考えを持つことが必要だと感じた。
- ・ 市長の視点の置き所や考え方を多少なりとも感じる事ができた。
- ・ 問題意識の共有で日常の業務において幅広い視野を持って取り組む職員が少しでも増えることにつながれば良いと思う。

《実施効果》

職場横断的に意見交換ができ、様々な価値観に触れることができた。その中で、今後直面する課題について、まず何ができるのか、今後に向けて何をすべきなのかを考えるきっかけになったと考える。